

キャラクター名
ルーカス・ボンネウィーク

プレイヤー名

シンドローム	バロール モルフェウス		ワークス	刑事	カヴァー	翻訳家
	オプション		年齢	22	性別	男
覚醒	償い	衝動	加虐	初期侵食率	33	%
出自		経験		邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	18
感覚	3	1	3	1		8	(非装備時)	18
精神	2	0	0			2	戦闘移動	23
社会	2	0	0			2	全力移動	46

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：四輪	2		芸術：			知識：			情報：裏社会	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティウェポン	白兵	1r	6	20[Lv+7]E27A		インフィニティウェポン発動時 侵蝕値:5 様々な種類のな剣を作成
ハンドレッドガンズ	射撃	8r+4	3	16[Lv+4]E27A		ハンドレッドガンズ発動時 侵蝕値:5 ピアスから精製
インフィニティウェポン(ダブルクリエイト発動後)	白兵	1r	6	26		インフィニティウェポン+ダブルクリエイト発動時 侵蝕値:8
ハンドレッドガンズ(ダブルクリエイト後)	射撃	8r+4	3	21		ハンドレッドガンズ+ダブルクリエイト発動時 侵蝕値:8

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
防弾防刃ジャケット	10	3			

所持品	
ナチュラルクリエーション	
コネ:情報屋	

合計装甲： 3 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
エミール・ボンネウィーク	P 慈愛	N 恐怖		
ワン・ジャーロン	P 信頼	N 不安		
ルートヴィッヒ・ミュー	P 信頼	N 憐憫		
	P	N		
フランシス・ボヌフォワ	P 連帯感	N 不快感		
イヴァン・ブラギンスキ	P 好奇心	N 憐憫		
Dロイス:錬金術師	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	組み合わせた判定のクリティカル値-LV							
インフィニティウェポン	4	5	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	白兵戦用武器を製作							
ダブルクリエイト	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	武器を二つ作成 攻撃力、またはガード値+LV							
魔弾の射手	3	4	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果：	白兵武器二つで射撃攻撃 使用した武器は破壊 1シナリオにLV回							
ギガンティックモード	1	3	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	-	
効果：	攻撃の対象を範囲(選択)に変更 判定後に装備している武器はすべて破壊される							
ハンドレッドガンズ	2	5	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	射撃専用武器を製作							
紡ぎの魔眼	2	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	判定の直前に使用 1Rに1回 判定のダイス+LV個							
剣の王城	1	4	セット	至近	自身	自動	-	
効果：	1シナリオに1回 シーン間攻撃力+[Lv×2]、[Lv+1]個まで日本刀を作成しふたつまで装備可							
帝王の時間	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	周囲の時間流を操作し、他者よりもゆっくりと流れる時間を過ごせる							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

バロール/モルフェウス クロスブリード
色素の薄い儚げな容姿の青年。普段は図書館や行き付けの喫茶店で絵本の翻訳を行い生計を立てている。見た目とは裏腹にいざと言う時の行動力は高く、本人曰く人見知りな性格とは思えない程の対応を見せ周囲を驚かせることも稀ではない。

その正体は秘密警察『傾かずの天秤』所属の小隊長。投擲剣や銃を駆使し相手を制圧する戦場に降り立つ死神の一面を持つ。実の弟であるエミール、エミールと同一年のジャーロン、組織に加入仕立ての新人ルートヴィッヒを纏め、UGNやFHの秘密裏で暗躍しているようだ。彼が秘密警察に参加した理由として先にオーヴァードとして覚醒した弟の存在が理由として挙げられる。覚醒した弟に何一つ救えなかった自分への自責、救うための力の求め。渴望の末に彼は委員長フラシンスの手を取り加入。後に覚醒し現在に至るが弟が同じ小隊に居ることに少なくとも複雑な思いを抱いているというのは嘘ではないだろう。

オーヴァードの能力を使うと色濃く反映される加虐心は自身が痛みを鈍い故の痛覚を感じ取るツールとの事。反対に自身に加虐を行使されると不快に思うのは何をされているのか感じ取れないからであり半ば無理やりにオーヴァードを覚醒した代償であろう。